



お天気にも関わらず、実際に田んぼに足を踏み入れると泥の中は意外と暖かく、慣れてくると心地良くさえ感じました。横一列に並んで昔ながらの手植えを体験させて頂くうちに、最初は嫌がっていた女の子達も、だんだん楽しくなってきたようです。腰を屈めての作業は楽ではありませんでしたが、それでもほとんどの生徒が田植えが一番楽しかったと感想を残していました。

慣れない手で植えた苗がちゃんと育つのかちょっと心配ではありますが、村の方達は秋になったら収穫したお米を分けて下さると約束して下さいました。生徒達は、大切な田んぼの一部を解放して下さいた荻町の皆さんに感謝しつつ、自分たちが植えたお米を味わう時を楽しみにしています。

●日本人の心のふるさと

合掌造りについて学び、田植えを体験することを通して、生徒達は昔ながらの日本の村の生活を知りました。30年から40年ごとに行われる屋根の葺き替えは、200人もの村人が協力し合って行います。現在ではほとんど機械を使って行われている田植えや稲刈りも、その昔は家族総出の大仕事でした。ひとつ屋根の下には数十人単位の大家族が生活を共にしていました。合掌造りや囲炉裏などの目に見える文化遺産に加え、日本古来の集団生活の様式、助け合い、支え合う精神は、農耕民族である日本人の原点でもあり、現代では忘れ去られつつある大切な日本の文化の1つです。白川郷で、日本人でもなかなか体験出来ない貴重な日本文化を体験させて頂いたことは、生徒一人一人の胸に深く刻まれたことでしょう。



名古屋国際学園 学校概要

名古屋国際学園（名古屋インターナショナルスクール）は、中部地方で唯一、全課程で米国西部地域学校大学協会（WASC）及び、国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）の正式認可を受けたインターナショナルスクールです。

愛知県だけでなく近隣の岐阜県、三重県からも、25カ国以上、約330名の生徒が通学しています。授業は全て英語で行われます。



Data

創立／1964年、生徒数／約330名

設置学部／幼児教育部（3～4歳児）、小学部（キンダーガーテン～5年生）、中等部（6～8年生）、高等部（9～12年生）

認可／米国西部地域学校大学協会（WASC）

国際バカロレア・ディプロマ・プログラム（IBDP）

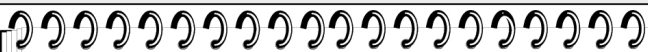
※2010年 国際バカロレア・初等教育プログラム（IBPYP）認定予定

スケジュール

米国の標準的なカレンダーに準じ、始業は8月下旬、終業は6月中旬となっていますが、入学選考基準を満たしていれば、編入は随時可能です。

卒業後の進路

卒業時には、アメリカのハイスクール卒業と同等の資格が得られるとともに、国際バカロレアのディプロマ資格を取得するチャンスもあります。卒業生の多くは、アメリカ、カナダなど英語圏の大学に進学します。近年では、早稲田大学、上智大学など、英語のプログラムがある日本の大学に進学した生徒もいます。



学校法人 名古屋国際学園

名古屋インターナショナルスクール

〒463-0002 名古屋市守山区中志段味南原 2686

TEL : 052-736-2025 E-mail : info@nis.ac.jp

http://www.nagoyais.jp/japanese (日本語)



NISの生徒たちが、地の利を活かして白川郷を訪問した報告です。この学校はインターナショナルスクールですが日本にある学校ですので、児童生徒、特に身の回りの自然・社会を通して学ぶことが必要な小・中学生の学齢では、大変重要なことです。インターのカリキュラムであるIBプログラムも、学校所在地に根付いた教育・学習を重視しています。今回の報告はその実践記録でした。感謝！

また、いつも素晴らしい写真を掲載いただき、ありがとうございます。